

WEBで読む「建設通信新聞」

建設通信新聞 電子版

⇒http://kensetsunews.jp

PCで「建設通信新聞」記事検索・メール配信

日経テレコン21/Factiva/G-Search/NewsWatch

工事情報の検索なら「建設工事の動きDigital」

⇒https://ugoki.kensetsunews.com/

THE KENSETSU TSUSHIN SHIMBUN

建設通信新聞

Architectures, Constructions & Engineerings News (Daily)

2017年(平成29年)2月1日(水曜日)

(第三種郵便物認可)

日建設計シビル

都市防災に 3次元点群

日建設計シビルは、高度成長期に建設された地下街の点群データ化に着手している。レーザー scanner (LS) や写真測量といった点群生成の技術を生かして既存の地下街をその一部にある地下インフラを3次元データ化し、維持管理、改修計画・設計、都市防災から、シミュレーションやバーチャルリアリティ (VR) にまで生かすという試みだ。



地上から見たエスカ地下街と下水管との位置関係 (中村栄治愛知工業大教授提供)

全国に約80カ所ある地下街の1に開業しており、40年以上が経過する。1974年まで、地上に

公共座標にも付け

屋内の点群は、あくまでローカルで相対的な座標に過ぎないため、同社は駅西側の街区多角点(3級公共基準点相当)を既知点とし、トータルステーション(TS)による測量を組み合わせて、平面直角座標系のグローバル座標に結びつけた。大森部長は「地下街の点群をグローバル座標に変換することで、写真測量した地上のビルなどの点群と、下水道台帳から割

ベステラと技術連携

建設キャリアアップシステムの説明が始まる。いま示されているものは、中小零細事業者配属した費用負担、登録情報の閲覧制限、建設技能者(以下、技能者)の能力評価の統一ルールなどである。就労履歴の必要性は分かるが、肝心の技能者のメリットはよくみえない。

逆に感じるのは、この取り組みが「処遇改善による担い手確保」の目的にどうつながるかという疑問である。議論すべき課題は少なからずある。

「変えるもの」とは

建設 論評

える。だが登録が必要だといった明確さがなく、登録にむかうことも、多くの場合、重層下請けや一人親方といった従来の課題解消を目指すのであれば、働き方や処遇の変化を期待できるのだが、それはないようだ。

今回、一人親方の登録は優遇され、重層下請けともに変える対象にはない。情報登録は任意であり、理念の1つに掲げた

初弾は名古屋「エスカ」
まず日建設計シビルが取り組んだのは、リニア中央新幹線の新駅予定地にある地下街「エスカ」の3次元データ化だ。これは71年に開業した延べ床面積約3万平方メートルの地下街で、83店舗と約3000台の駐車場を擁している。



LSで取得した街路の点群

既存地下街 丸ごとデータ化

また点群生成は、航空測量と自動車を使ったモバイルマップ・システム(MMS)などを組み合わせた測量サービス「クラウド」を行っている。また、東京都墨田区吉野井野村長とパートナー契約しており、設計だけでなく、維持管理、防災計画・設計を通じてクライアントとの関係強化を進める。点群は、X、Y、Z座標で構成される空間座標を点の集合としてとらえることができ、主要な点を結んでIN(不等辺三角形)データを生じ、BIM(ビルディング・インフォメーション・モデリング)、CIM(コンストラクション・インフォメーション・モデリング)に展開できる。さらに現状の空間を計測設計時に「ドット」で表現し、計画段階の旅客流や音響、サイロなどのシミュレーションにも、点群データを活用して作成した3次元空間を生かしている。

他産業に例をみない過度な平等化投資に見え、関係者への説明も不十分である。また注意の登録や部分的な運用開始は、取り回しにくい行動である。そればかりか、データの欠落は見える化と統計の価値を大きく下げる。それはシステムが提供する価値を減らし、利用者が集まらないという悪循環をつくってしまう。効果の見えないシステムを業界負担で運用し続ける愚は避けねばならない。

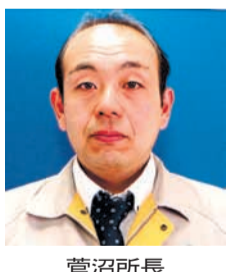
「履歴を頼りにした多様な動き」を望む自然な形とは「能力を適正に評価し処遇する事業者」への帰属し、例えば優秀職長などの呼称を得ることだろう。しかし今はそうした職を得ても、報酬は過剰な請求数の分シエられる可能性がある。重層下請けによる技術者配置と経費の重なりは、処遇されるべきホジションの本来の魅力と効率を減じてはいない。先に変えるべきはここではないか。

よみがえる伊東忠太のデザイン 境内整備し憩いの場提供

松井建設が施工 10月末竣工

築地本願寺

築地本願寺(東京都中央区)の境内が今秋、レンコ口石とカラブロック、芝生を組み合わせた修景整備により、建築家の伊東忠太が設計した当時の姿によみがえる。インフォメーション棟と永代合葬墓(合同墓)も新たに設置し、若い世代の宗教離れやライフスタイルの多様化が進む中で、誰もが気軽に訪れることができ、多くの人が開かれ親しまれる寺院として、憩いと安寧の場を提供する。施工は松井建設が担当。現在は第1期となる参拝者用駐車場整備に先行して着手しており、今後、第2期も並行して進め、10月末の竣工を目指す。



菅沼所長

宗派を超え親しまれる築地の「顔」

築地本願寺は1617年、京都・西本願寺の別院として、浅草・横山町に建立されたのを発祥とする。1657年の「明暦の大火」で焼失し、幕府が代替地として指定した八丁堀の海上に、佃島の門徒が中心となって海を埋め立て、地を築き、1679年に再建。それが「築地」の地名の由来ともなっている。その後、1923(大正12)年の関東大震災に伴う火災により再び焼失。現在の本堂は伊東忠太が設計し、松井建設の施工で34(昭和9)年に落成した。仏教の発祥の地である古代インドの建築様式を独自の解釈で取り入れた外観と、伝統的な真宗寺院の本堂形式を融合した独特のデザインは、国内外から多くの観光客が訪れる築地の「顔」として、宗派を超えて広く親しまれている。2014年には外周の石扉や石造柱門とともに国の重要文化財に指定されるなど、その建築的な価値は高く評価されている。



完成イメージ。設計は三善地所設計



現在の境内

同サイドに現在点在する東京都指定の旧跡や石碑などは境内右側に移動・集約し、緑豊かな散策路を整備して観光客や参拝者の憩いの場とする。右サイドには参拝者用の駐車場も整備。車両の出入りを晴海通り側に限定することで、年間33万人に及ぶ参拝者の正門からの動線を円滑にし、安全性も高める。地下鉄築地駅から境内に直接入れる通路を妨げないよう、インフォメーション棟は高さを抑え、合同墓も礼拝堂からの眺望を意識したガラス屋根のデザインとしている。施工に当たる松井建設の菅沼利幸所長は「安全、品質、工期いずれも失敗が許されない工事」と口元を引き締める。特に多くの参拝者や観光客が訪れる中での工事となるだけに、境内での歩行者の安全確保を最優先に考慮し、境内の工事区画なども細かく境をなすストレープや負担をかけないようにしていく考えだ。本堂に現在ある事務所の一部はロビーや参拝者対応のスペースに改修する。これらの設計は三善地所設計が担当。本堂への視線を妨げないよう、インフォメーション棟は高さを抑

コンペ&プロポーザル Digest

- ◆熊本市「イルカセンター」(仮称)建設設計。公募型プロポーザル。参加要約書は6日まで、技術提案書は3月31日まで。ヒアリング審査を経て4月28日に審査結果を公表する。(1/25)
- ◆東京大学「同大(柏)産学連携施設(仮称)新館」建築設計。公募型プロポーザル。参加要約書は3日まで、技術提案書は20日まで。2月末までに特定する。(1/25)
- ◆名古屋大学「同大(東)総合研究棟」建築設計。公募型プロポーザル。参加要約書は3日まで、技術提案書は20日まで。2月末までに特定する。(1/25)
- ◆熊本市「イルカセンター」(仮称)建設設計。公募型プロポーザル。参加要約書は6日まで、技術提案書は3月31日まで。ヒアリング審査を経て4月28日に審査結果を公表する。(1/25)
- ◆徳島県三好市「地域交流施設等」設計監理。公募型プロポーザル。応募申込書は16日まで、提案書は22日から3月23日まで。プレセッションとヒアリングを経て4月下旬に特定する。(1/25)
- ◆鳥根県建設の島町「新庁舎建設基本設計」公募型プロポーザル。1次審査で採設計事務所、2次審査で採設計事務所、3次審査で採設計事務所。採設計事務所、4次審査で採設計事務所。採設計事務所、5次審査で採設計事務所。採設計事務所。(1/25)
- ◆熊本市「イルカセンター」(仮称)建設設計。公募型プロポーザル。参加要約書は6日まで、技術提案書は3月31日まで。ヒアリング審査を経て4月28日に審査結果を公表する。(1/25)
- ◆徳島県三好市「地域交流施設等」設計監理。公募型プロポーザル。応募申込書は16日まで、提案書は22日から3月23日まで。プレセッションとヒアリングを経て4月下旬に特定する。(1/25)
- ◆鳥根県建設の島町「新庁舎建設基本設計」公募型プロポーザル。1次審査で採設計事務所、2次審査で採設計事務所、3次審査で採設計事務所。採設計事務所、4次審査で採設計事務所。採設計事務所。(1/25)
- ◆熊本市「イルカセンター」(仮称)建設設計。公募型プロポーザル。参加要約書は6日まで、技術提案書は3月31日まで。ヒアリング審査を経て4月28日に審査結果を公表する。(1/25)
- ◆徳島県三好市「地域交流施設等」設計監理。公募型プロポーザル。応募申込書は16日まで、提案書は22日から3月23日まで。プレセッションとヒアリングを経て4月下旬に特定する。(1/25)
- ◆鳥根県建設の島町「新庁舎建設基本設計」公募型プロポーザル。1次審査で採設計事務所、2次審査で採設計事務所、3次審査で採設計事務所。採設計事務所、4次審査で採設計事務所。採設計事務所。(1/25)
- ◆熊本市「イルカセンター」(仮称)建設設計。公募型プロポーザル。参加要約書は6日まで、技術提案書は3月31日まで。ヒアリング審査を経て4月28日に審査結果を公表する。(1/25)
- ◆徳島県三好市「地域交流施設等」設計監理。公募型プロポーザル。応募申込書は16日まで、提案書は22日から3月23日まで。プレセッションとヒアリングを経て4月下旬に特定する。(1/25)
- ◆鳥根県建設の島町「新庁舎建設基本設計」公募型プロポーザル。1次審査で採設計事務所、2次審査で採設計事務所、3次審査で採設計事務所。採設計事務所、4次審査で採設計事務所。採設計事務所。(1/25)